



日本プライマリ・ケア連合学会
近畿ブロック支部



発行人：鈴木 富雄
事務局 〒550-0001 大阪府大阪市西区
土佐堀1-4-8 日栄ビル703A
あゆみコーポレーション内
Tel.06-6441-4918 Fax.06-6441-2055
E-mail jpca@a-youme.jp
HP <http://www.primary-care.or.jp/primarycare-kinki/index.html>

ニュースレター No.46 (2024.12)

特集1： 近畿の話題（今回は大阪からです）

野口 愛（西淀病院 / 大阪市）

第一回！西淀病院キッズクリニック

当院は大阪市西淀川区に位置し、いつでもどこでも誰もが安心して受けられる無差別・平等の医療をめざして地域医療に取り組んでいる。地域では独居高齢者の孤独死や子供の孤食などが問題となっており、生活苦や経済面が受診のハードルを上げており、早期に医療とつながることで最悪の事態では命を救うことができたりする事例も多く経験している。そのためには、地域のニーズをつかみに我々医療スタッフが地域に出ること、また地域の人たちが当院にきて我々の医療活動や、ヘルスプロモーション活動を知ること、当院を身近な存在に認識してくれるのではないかと考えた。



初めての企画であり、企画側の問題で開催までに時間がないことから、今回は職員の子供（小学生）に対象を絞ることにした。当日、低学年は病棟で病室や大きなお風呂、レントゲン室、薬局を見学、高学年は人形を使ってBLSを体験してもらった。その後班ごとに分かれて、喉に詰まらせたパイン飴を鉗子で取り除いたり、手作りの人体臓器パズルで遊んだり、色水で輸液セットを作ってもらったり、自分の心臓の動きをモニター波形で確認したり、装具や松葉杖、車椅子に乘ったり、院内食堂で大きな調理器具や嚥下食の試食も経験したりと盛りだくさんの企画となりました。

参加した子供たちからは、「楽しかった!」「お母さんの働いてる姿を見て嬉しかった」保護者からは、「学校で体験できない経験であり、子供のころにこのような経験ができるのはよかった」「医療スタッフと触れあうことができ、医療関係の仕事を知るきっかけになった」などの感想がたくさん集まりました。

次は夏休みや春休みを利用し地域の小学生や、お仕事体験として中高生に参加してもらえるような企画を考えたいと思う。多くの地域住民に西淀病院に来てもらい、医療体験を通して、病院を身近に感じてもらうような企画を続けていきたいと思う。



特集2： 第37回日本プライマリ・ケア連合学会近畿地方会 和歌山大会

和歌山県立医科大学附属病院紀北分院 梶本 賀義、廣西 昌也

和歌山県支部、和歌山県立医科大学紀北分院、和歌山県立医科大学地域医療支援センターの主催にて、第37回日本プライマリ・ケア連合学会近畿地方会が、去る2024年11月17日（日）に和歌山城ホールで開催されました。地理的なこともあり、参加される人数がどれほどになるか心配もしていたのですが、現地参加が149名、当日のWeb視聴が75名、まだ視聴いただいていない方を含めた参加登録人数が258名と予想より大幅にたくさんの方々にご参加いただきました。一般演題については現地参加できない方への利便性のために新しい試みとして、ホームページ上で公開された発表動画への質問やコメントのやりとりを行なっていただきましたが、当初座長（コーディネーター）の役割がわかりにくかったことや、当日現地に赴く必要があるのかといったことが周知できておらず、多くの方にご迷惑をおかけしました。とはいえ、Web討論に関しては座長の先生方の極めて積極的な書き込みに加え、多くの方々に参加いただきますと成功だったと自負しております。和歌山のようなやや遠方の地での開催においては今後採用いただいて良い形式なのではと思います。準備途中でご意見をいただいて、ポスターでの発表も併用することにしましたが、こちらも多くの方がポスター会場に足を運んでいただき、ご準備などにご不便かけたとは思いますが直接参加者の方々がコミュニケーションできて良かったと思います。大下大圓先生の特別講演には多くの方から「非常に良かった」とのお声をいただきましたし、浅田紘祐子先生の瞑想体験、多田明良先生のPOCUSセミナー、山本康久先生のコーチングのセッションなどもすべて満席御礼状態でありがたいことでした。たいへんなことも多かったですが、多くの方の援助をいただき、つながりを深めることができ、またお褒めの言葉をいただいたことは主催として嬉しい限りです。心から感謝を申し上げます。

お知らせ： KONPass2024 のご案内

<https://peatix.com/group/12207104>

購入者特典:ポートフォリオライブラリ

KONPass2024のご案内 (Kinki Official Navigation Passport)

日本プライマリ・ケア連合学会・近畿ブロックがお届けする、
充実の研修サポート！
年間3000円で、以下の特典が得られます！

- ① ポートフォリオライブラリ
過去のP-FESでの優秀ポートフォリオを閲覧することができます
- ② 動画ライブラリ
近畿ブロックで行ってきた企画の動画を閲覧することができます
- ③ ポートフォリオ相談会
偶数月の第3金曜日にオンラインでポートフォリオ作成支援を行います
- ④ ポートフォリオ・ブラッシュアップ・セミナー (P-BUS)
10月の週末にゲストをお呼びして行う特別企画です
もちろん参加費無料！
- ⑤ P-FES参加費無料！
例年2～3月に行われる、年に一度のポートフォリオ発表会に
無料で参加できます（通常は1500円）

申し込みはこちらから →



(昨年度購入された方も今年度分は改めてお申し込みください)

報告： 近畿ブロックポートフォリオブラッシュアップセミナー（P-BUS）

東本 晃尚（西淀病院／OCGFP／大阪市）

2024年10月12日（土）、近畿ブロックの専攻医と指導医を対象に「ポートフォリオブラッシュアップセミナー（P-BUS）」を開催しました。専攻医がポートフォリオをより良く記載できるよう支援することを目的とし、亀田ファミリークリニック館山の岩間秀幸先生を講師に迎え、ライブ指導とグループディスカッションを実施しました。当日は専攻医4名を含む14名が参加し、4編のポートフォリオを取り上げました。

参加者からは、準備や運営について概ね高評価をいただきましたが、広報活動や専攻医の参加を促す工夫に課題があることも明らかになりました。特に、症例提出のハードルを下げるため、事例記述のみを提出対象とする形式を検討する必要があります。また、指導医やプログラム責任者への広報を強化し、参加者数の拡大を図ることが求められています。

今後はスタッフ体制を充実させ、準備期間を十分に確保するとともに、地域の指導医をメイン講師に迎えるなど、参加者がより満足できる場を提供していきたいと思います。オンライン開催の特性を活かしつつ、専攻医と指導医双方にとって意義ある学びの場を継続していく予定です。次回のご参加をお待ちしております。



お知らせ： 2024年3月22日 P-FES2025 開催決定！

田中いつみ（滋賀家庭医療学センター/竜王町）



ポートフォリオ作成に悩む専攻医はもちろん、毎年添削に苦勞する指導医の先生も対象です！以前は近畿ブロックのプログラムに所属する専攻医が一堂に会し、ショーケースポートフォリオ口頭発表会の場として開催されていたポートフォリオ発表会ですが、4年のオンラインを経て今回は現地開催となります。気さくな交流と熱いディスカッションを！と今回は多職種のスタッフも増えてわいわいと準備を進めています。

開催日時：2025年3月22日（土）午後

場所：大阪医科薬科大学

（阪急京都線 高槻市 駅すぐ、JR 東海道本線 高槻 駅徒歩 8 分）

開催概要：

- ・希望者全員が発表（各会場 8-10 人程度で 4-5 会場）
座長、指導医、参加者からのコメントやディスカッション
- ・優秀な詳細事例報告者は大会場で発表
- ・特別講演 香田将英 先生「EBM の PF に取り組む上での AI の活用」
岡山大学学術研究院医歯薬学域 地域医療共育推進オフィス特任准教授（オフィス長）
- ・交流会兼ワークショップ

ぜひ、多くの皆様にご参加いただき、よりよい発表会にしていきたいと考えております。

申し込みは下記のフォームからお願いします。

募集フォーム（12月31日（火）締め切り）

発表者： <https://forms.gle/jgSTzEKVmmKdnrv57>

評価者： <https://forms.gle/L2HCTpjDzVgM8N3AA>

※発表希望者（詳細事例提出）は近畿ブロックの専攻医/全国の多職種に限定させていただきます。

※詳細事例は新・家庭医療専門医、各職種のフォーマットに準ずる、提出方法は後日連絡します。

※学生・初期研修医・KONPass 保有者・評価者は無料です。（他 1500-2000 円予定）

詳細事例報告の提出：2025 年 2 月 2 日予定

スライドデータ提出：2025 年 3 月 15 日予定

P-FES 2025 運営委員一同

お問い合わせ先：k.portfolio.festival@gmail.com

活動報告： ～第2回 兵庫県総合診療医・家庭医の集い～

大西 潤（大西メディカルクリニック/加古郡稲美町）

兵庫県内でも多数の総合診療医・家庭医が各地で活躍するようになり、同じ志を持つもの同志で意見交換・交流会を開こうと、昨年に続き今年も兵庫県内の総合診療に携わる専攻医・専門医・指導医の方々に集まっていたいただき、2024年9月28日に神戸大学医学部附属地域活性化センターで交流会が開催されました。昨年に続いての参加や、昨年は都合が合わずに参加できなかった、また今年新しく参加となった先生方も合わせて現地には19名の参加となりました。

第一部では神戸大学大学院 地域医療教育学部門の岡山雅信先生に、兵庫県内の医師の偏在や総合診療医育成の期待という題で講義をしていただきました。総合診療医育成の取り組みや、総合診療専門医プログラム終了後の地域医療のリーダーを育成するためのプログラムについての提言など、非常に有意義な時間となりました。

またケアと暮らしの編集者の守本陽一先生からは、だいかい文庫を含めた豊岡市での実践例について講演いただき、参加者自身がどう行動に移すのかという視点でワークショップを行いました。

今回のBBQは神戸D51 PARKで行いましたが、昨年のため池でのBBQとは違い、洗練された神戸の都会で行うBBQも良いものでした。普段お会いすることの難しい先生方とも交流できる貴重な機会となりました。

来年以降も顔の見える関係づくりを考えています。兵庫県内だけでなく、近畿圏まで裾野を広げるのか、実行委員と相談していきますので、是非皆様ご参加ください！

最後になりますが、今回の会にご参加・ご協力いただいたみなさま、本当にありがとうございました。



報告： 日本プライマリ・ケア連合学会京都府支部会・講演会 令和6年10月6日

京都府立医科大学大学院研究科 総合医療・地域医療学教室 四方 哲

「地域医療のブレイクスルー」

地域医療実習、地域医療学講座、地域医療構想など、地域医療を冠する言葉は日常的に使われている。日常会話が成立しているので、共通理解可能な言葉であると言える。しかし、地域医療について深い議論をする時、あるいは地域医療を学術として捉えるためには、地域医療とは何なのかという定義づけを行う必要がある。日常会話で使われている地域医療という言葉の意味として、①過疎地における医療、②特定の地域における医療、③高度医療機関以外の医療、④その他、機能的な役割の4つに分類できる。①から③は診療の場の違い、あるいは区域の広がりの違いはあるものの、医療という言葉に置換しても意味が変わらないため、あえて地域医療と表現する必然性がない。飛行機内や船の中などかなり特殊な状況を除けば、全ての医療機関はどこかの地域に所在するので、地域で医療をする、という表現は独立した意味を成さない。地域イコール田舎という意味を表現するのであれば、へき地医療、過疎地医療と表現する方が的確である。そもそも医療そのものに焦点を当てると、田舎であろうが都会であろうが診療行為そのものに本質的な違いはない。私たちは2013年に地域医療の定義を「保健（予防）、医療、福祉（介護）の連携の中で医療を行うこと」と考えた。その後、さまざまな立場の方々との議論の中で、文尾が「医療を行うこと」とすると、実践者は医師や看護師などの医療職に限定されてしまうとのこと指摘を頂いた。つまり、保健を担う人や福祉を担う人、行政職、あるいは住民などが各地域固有の連携システム（広義の地域包括ケアシステム）創りの推進者になることも理想論としてありうる。このような視座に立ち辿りついた新たな地域医療の定義は、「地域医療とは各地域における保健・医療・福祉の連携システムである」というものである。このような定義づけをおこなう過程を経て、卒前・卒後教育における地域医療学という学術体系が形成されてゆくことを期待したい。

報告： KPCA 薬剤師 ワーキンググループ ～設立とその後～

辻本 千代美 (もみじヶ丘病院／福知山市)

ニュースレターNo.45 (2024年9月発行) で「日本プライマリ・ケア連合学会近畿ブロック支部 (KPCA) 薬剤師ワーキンググループ (WG) 第1回ミーティング」について大石和美代表から報告があり、その後の経過をご報告させていただきます。

日本プライマリ・ケア連合学会近畿ブロックには約130名の薬剤師が所属しています。10月にJPCA近畿ブロック支部・薬剤師WGのメーリングリストとJPCA近畿ブロック薬剤師Facebookグループを開設しました。また、11月17日に和歌山市で開催された近畿地方会での代議員会において、改めて薬剤師WGの設立について報告させていただきました。

今後の活動について、「研修会をやろう」、「薬剤師同士もっと交流しよう」、「薬局見学をしたい」、「ポートフォリオ作成フォローは?」、「SNSを活用しては?」、「近畿ブロックの会員数を増やしたい」などの声が上がっています。さらに、近畿ブロックにおいて薬剤師ももっと貢献したいという思いがあり、来年3月に開催されるPORTFOLIO FESTIVAL2025に薬剤師4名が実行委委員として参加させていただくことになりました。

まだ駆け出しの薬剤師WGですが、何かやりたいと目下検討中です。他職種のお役に立ちたい気持ちも強く、お気軽にお声がけ下さい。忌憚ないご意見いただければ幸甚です。

その他：

2021年度より支部活動や会員の状況、プライマリ・ケアの歴史、などを報告するニュースレターの取り組みの一環としてPodcastの配信を行っています。

●近畿ブロックのレジェンドたちの

ライフストーリー&感動秘話

- #1 石丸裕康 先生
- #2 木戸友幸 先生
- #3 中山(畔田)明子 先生
- #4 雨森正記 先生
- #5 鈴木富雄 先生
- #6 松井善典 先生
- #7 竹中裕昭 先生
- #8 三澤美和 先生
- #9 若槻優真先生 稲田有作先生 浦田恵里先生



- #10 吉本清巳先生、および第 35 回近畿地方会の実行委員会のみなさま
#11 大島民旗先生、川島篤志先生、稲岡雄太先生(第 36 回近畿地方会大会長、実行委員長/副委員長)
#12 武田以知郎先生

をゲストに迎え、順調にポッドキャスト収録が進んでいます。ぜひ一度お聞きください。

----- LEGEND of GP in KPCA -----

日本プライマリ・ケア連合学会、近畿ブロックに所属、近畿で活躍するプライマリ・ケアプロバイダーたちをゲストにお招きし、これまでの変遷、今現場で感じていること、そして、未来に向けて、ざっくばらんなトークを繰り広げることで、近畿ブロックのみなならず、日本全国のプライマリ・ケアに従事する方々に「元気」と「勇気」を持ってもらう番組です。

<https://podcasters.spotify.com/pod/show/kpca>

ニュースレター編集委員大募集！！

朝倉 健太郎(大福診療所／桜井市)

近畿ブロック ニュースレター編集部では、近畿ブロック支部や各府県支部の取り組み、会員のみなさまの近況などを中心に、3 ヶ月毎、年 4 回のニュースレター発行を行っております。ニュースレター編集にご興味のある方、是非、編集部 kentaroasakura@gmail.com 朝倉までご一報下さい。

【支部からのご連絡】 ブロック支部活動について皆様からのご意見やご提案をお待ちしております！

近畿ブロック支部・各府県支部・公認グループ活動のホームページが更新されました！

<http://www.primary-care.or.jp/primarycare-kinki/> 是非、アクセスしてみてください。

(学会トップページ <http://www.primary-care.or.jp> 上部メニュー「講演会・支部活動」から)

→ 詳細は、上記ホームページをご参照願います。

ホームページ担当：梶原信之